

知の探求を通じた GRIPSのSDGsへの貢献



知の探求を通じた
GRIPSのSDGsへの貢献
ウェブサイト

GRIPSへのご支援のお願い

開学以来GRIPSは、国内外の民主的統治を担う指導者、政策プロフェッショナルの育成を担ってまいりました。修生生の環は、日本をはじめとしてアジアを中心に世界各地へと広がり、現在約4,700名が行政機関等で活躍しています。将来に渡ってGRIPSが、国際的な政策研究・教育の拠点として、世界に確実に貢献し続けるよう、皆さまご支援をよろしくお願いいたします。

お問い合わせ → GRIPS基金事務局 fund@grips.ac.jp

 GRIPS Official
Facebook



GRIPSから、
旬の情報を
発信します！

SDGs達成に向けた 活動の現場を支える人材育成

～開発途上国における能力構築の国際的支援～

政策研究大学院大学 (GRIPS) は、

これまで現実の課題解決に貢献する高度の政策研究を基盤とし、
開発途上国から多くの留学生を受入れ、

政策の現場で直面するさまざまな問題を解決するために必要な
専門的知識の教育を提供してきました。

彼らはまさに「持続可能な開発のための実行手段」の担い手であり、

GRIPSはこれらの教育・研究を通して、貧困、子供、医療、環境、
安全保障等あらゆる面でSDGsに貢献します。



1 開発途上国から多くの学生を受入れ、
教育を実施

2 学生はそれぞれの国と地域が抱える現実の課題の
解決を志して来日し、専門的な知識を習得して帰国

3 対処すべき課題は、貧困、子供、医療、教育、
環境・資源、経済、安全保障など多岐にわたる

4 学生は修了後、各国政府や関係機関で働く職員として
NGO、市民団体、大学・研究機関等と協力し、
さまざまな課題解決に尽力

SDGsの現場を支える人材の育成



115の国と地域に4,700名以上の修了生を輩出

学位プログラム

SDGsの貢献に直結する 大学院学位プログラムを展開

文部科学省、国際通貨基金 (IMF)、世界銀行 (WB)、世界税関機構 (WCO)、国際協力機構 (JICA) や国内関連省庁等との連携・協力により、開発途上国等を中心とした世界の現役行政官を対象に、政策課題対応型の大学院学位プログラムを展開しています。



東京証券取引所を訪問するアジア諸国の研修生

海外行政官向け短期研修

現場のニーズに即した 短期研修プログラムの提供

現場で活躍する海外行政官等を対象とし、講義や現場訪問、意見交換など実務的な内容を中心とした1週間程度のテラーメイドの短期研修プログラム (ベトナム副大臣級研修、タイ副知事研修、インドネシア大統領補佐官研修等) を提供しています。

実践的な研究



豊富な研究成果に基づくケニア高官への研修

現場の政策課題解決に 直結する研究を実践・支援

政治・経済・総合政策等の教員を揃え、外交・安全保障、科学技術、インフラ、エネルギー等のさまざまな政策課題解決に向けた研究・政策提言を展開しています。研究活動の中核を担う政策研究センターでは、学内研究資金により2018年度からSDGsの達成に資する研究や国際会議の実施を優先的に支援しています。

修了生のシディカ・ラーマンさんは、バングラデシュにおけるさまざまなカイゼンプロジェクト (貧困層の生活改善、質の高い初等教育の確保、児童婚の防止、公衆衛生の普及など) に従事。生活改善を目的としてナライル地区で2015年に立ち上

げた「カイゼン茶園」プロジェクトは、訓練を受けた貧困層の人々がお茶の世話をすることで日給を受け取ることができるもので、現在では事業の採算性も高まり、2017年にはバングラデシュ政府から「行政アワード2017」も受賞しています。



SDGs達成に向けた活動の現場を支える人材育成

～開発途上国における能力構築の国際的支援～

政策研究大学院大学 (GRIPS) は、これまで現実の課題解決に貢献する高度の政策研究を基盤とし、開発途上国から多くの留学生を受入れ、政策の現場で直面するさまざまな問題を解決するために必要な専門的知識の教育を提供してきました。彼らはまさに「持続可能な開発のための実行手段」の担い手であり、GRIPSはこれらの教育・研究を通して、貧困、子供、医療、環境、安全保障等あらゆる面でSDGsに貢献します。

- 1 開発途上国から多くの学生を受入れ、教育を実施
- 2 学生はそれぞれの国と地域が抱える現実の課題の解決を志して来日し、専門的な知識を習得して帰国
- 3 対処すべき課題は、貧困、子供、医療、教育、環境・資源、経済、安全保障など多岐にわたる
- 4 学生は修了後、各国政府や関係機関で働く職員としてNGO、市民団体、大学・研究機関等と協力し、さまざまな課題解決に尽力



田中学長による全学生必修科目「The World and the SDGs」

将来、指導的行政官の務めを果たすことが期待されている本学の学生に対し、SDGs相互の関連性や、SDGsに具体化された幅広い視野でそれぞれの国や地域の政策課題について考える能力を養う、全学必修科目を開講しています。



SciREX サマーキャンプで STI for SDGs をテーマに政策立案

科学技術がいかにSDGsへ貢献するかをテーマの一つとし、学生と教員が3日間にわたり科学技術イノベーション (STI) 政策への提言を作成。ボトムアップ (地域コミュニティ主体) 型のソリューションに向けた政策提言の検討などを行いました。



サブサハラ・アフリカにおける産業開発戦略ワークショップ

アフリカ各国の大使および大使館関係者を多数お招きし、JICA 研究所との共催で TIF (Training (人材育成)、Infrastructure (インフラ整備)、Finance (金融支援)) 戦略についての講演と意見交換を行いました。



ノルウェー外務大臣による海洋政策とSDGsについての特別講演

ノルウェーのスールアイデ外務大臣は、私たちが直面している2つの課題 (清潔で健全な海洋保全、持続可能な海洋資源利用) について語るとともに、SDGs、特に目標14は今後とるべき行動の重要な指針であると訴えました。



インクルーシブ・イノベーション研究をリードする国際会議

ICTの進歩やシェアリングエコノミーの進展により、誰もがイノベーションの担い手となる時代。社会課題を解決し新たな価値を創造するイノベーションのあり方と、それをグローバル展開していくための課題について議論しました。



トンレサップ湖周辺地域の持続可能な管理・保護・開発

修了生のトニー・ヘルさんは、カンボジアの各府・研究機関・地元当局・国内外の組織・NGO・市民団体等の協力・連携のもと、トンレサップ湖周辺地域の持続可能な管理・保護・開発等に取り組んでいます。



水と災害に関するハイレベルパネルおよび国際シンポジウム

世界各国の閣僚、行政、大学、研究機関、NGO等約270名が参加し、水と災害に関する意識高揚・行動促進や各国SDG政策の形成支援等を検討するハイレベルパネルと国際シンポジウムを開催。本学に本パネルの事務局が設置されました。



第8代国連事務総長 潘基文 (バン・ギムン) 氏によるSDGsについての講演

「国連の持続可能な開発目標：より良い未来への青写真」と題し、国連が17の目標を設定した理由と経緯、これまでの国際開発アプローチとは異なるSDGsの特徴、2030年までの目標達成に向けてとるべき行動について語りました。



各国政府の科学顧問が集結。INGSA 2018 Conference を開催

Science Advice for a Changing Worldをテーマに、世界40か国以上から科学的助言に関わる科学者、政治家、行政官ら約300名が参加した「政府に対する科学的助言に関する国際ネットワーク (INGSA)」第3回会合を開催しました。



海上保安分野の専門家を育成する国内初のプログラム

海上保安庁との連携により、国際法に基づく海洋秩序の構築・維持に貢献する人材育成を目的とした国内初のプログラム「海上保安政策プログラム」を開発。2018年9月には第3期生が修了しました。



クアラルンプールの低所得家庭向けコミュニティプログラム

修了生のアズマン・ビン・モウド・ユソフさんは、マレーシア政府が女性、子ども、障がいのある人、高齢者、災害被害者、貧困者のほか家族制度を対象とした、政策やアクションプランの策定に取り組んでいます。



政策面から世界の女性が活躍する社会を推進する取り組み

各界の政策リーダーを迎えて女性が活躍する社会推進のための研究会やシンポジウムを開催。日本を含むアジアや中東諸国の行政官を対象とした [Young Leaders Program] では、海外行政官の女性比率の目標を35%としています。

